

業務現場のIoT活用をAIエージェントが支援するサービス 「SORACOM Agent」を提供開始

プランニングから運用まで、IoTプロジェクトの全工程を
専門知識を持つAIエージェントが伴走支援

株式会社ソラコム(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO 玉川 憲)は、ITの専門知識がなくともIoTを活用した業務の自動化や現場改善、プロダクト開発を実現できるマネージドAIエージェントサービス「SORACOM Agent(ソラコム エージェント)」を、2026年7月7日から提供開始します。なお、本サービスは、Technology Preview版(*1)として公開されます。



<SORACOM Agentを利用して作成した仕組みの一例:
カメラ映像の分析、作業時の音声アシスタント、箱罠の遠隔操作>

SORACOM Agentは、プランニング(企画)・プロトタイピング(試作)から開発・運用まで、IoTプロジェクトの全工程でユーザーに伴走するマネージドAIエージェントです。

AIを活用した現場プロセスの自動化やプロダクト開発は、コスト削減だけでなく新たな事業創出の機会として、多くの企業にとって重要なテーマとなっています。一方でIoTは、デバイス、通信、クラウド、AI、セキュリティといった幅広い技術領域にまたがるため、構築には専門知識を要します。加えて、現場のノウハウを持つ業務担当者と、システムを構築する技術者は部署が異なることも多く、活用のアイデアがあっても、それを実際に動かして効果を得るまでには、専門知識の確保や部署間の調整に時間とコストがかかっていました。

IoTの知識を備えたSORACOM Agentは、困り事を伝えることで解決案を提示したり、目標を伝えるだけでIoTによる実現方法や手順を自ら考え、複数のツールを操作しながらタスクを自律的に遂行します。「センサーから異常検知のアラートが出たら、内容を把握し、対応策を併せて知らせて」のように自然言語で指示するだけで、SORACOMが提供するデバイス管理、データ収集、画像分析、自動通知といった豊富なIoTサービス群を組み合わせ、仕組みを構築します。利用者が一つひとつ手順を指示する必要はありません。業務の知識・ノウハウを持つ担当者の方が、自ら相談しながら課題解決することができます。

さらに、「プロジェクトメモリー」を搭載し、過去のユーザーとのやり取りや入力した現場の発生事象や作業手順等のノウハウを長期にわたり記憶します。これにより、利用を重ねるほど自社業務への理解が深まり、専任のAIパートナーとして機能します。SORACOM Agentはユーザーごとに隔離されたセキュアなコンテナ環境で動作し、顧客自身の環境内で機密データや業務情報を分離して扱います。入力・収集したデータ、プロジェクトを通じて得られた知見は、顧客自身のIP(知的資産)として手元に保持されます。ローカルでの環境構築は不要で、SORACOMのサービスに精通したAIエージェントがあらかじめプラットフォーム上に用意されているため、すぐに利用開始できます。



想定される利用シーンとして、たとえば施設管理・警備の現場では、複数のソラカメ(*2)など、ネットワーク越しの映像取得に対応したカメラに「不審物が映っているカメラ映像がないか確認し、該当するカメラがあったら通知して」と指示するだけで、AIが全カメラの画像を確認して検出時に通知します。

IoTセンサーの運用においては、データ送信の不具合や異常値の検知をトリガーにSORACOM Agentを起動し、AIが状況を解析・判断したうえで担当者に連絡し、あらかじめ登録した対処方法を提案します。このほか、遠隔からのデバイス設定・ON/OFFの変更や、現場の状況をテキスト化して音声通話で担当者に知らせる仕組みの構築(デバイスの対応などの条件あり)も実現します。さらに、音声での相談に対し製品の問い合わせや故障原因の推察をAIエージェントが音声で回答する現場作業アシストにも活用できます。

現在のTechnology Preview版では、SORACOMに接続されたリファレンスデバイスや蓄積されたデータへの問い合わせ(解析/回答/制御)と、SORACOM Fluxを活用したIoTアプリによる自動化の仕組み作りをサポートします。今後は、アイデアを伝えるだけで仕組みの全体像を検討する機能、現場の運用をより深くサポートする機能、さらにSlack・メール・音声など各種チャネルでのプロアクティブな通知機能を、順次拡充する予定です。あわせて、パートナーデバイスや、特定のユースケースに対応するデバイスなど、SORACOMリファレンス以外のデバイスも検討していきます。

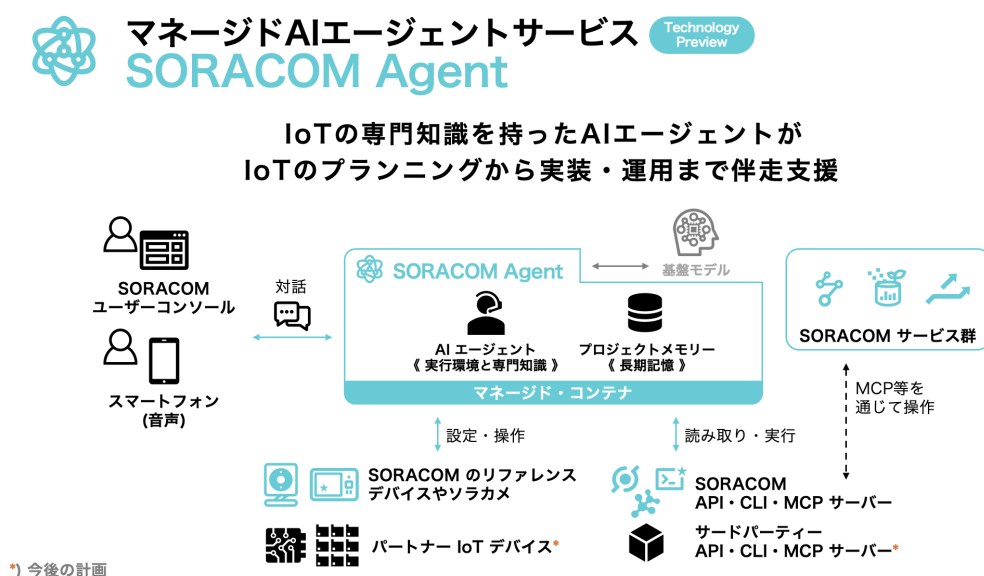
ソラコムによる支援が必要なケースでは、専門のサポートチームが対応する有償のSORACOMサポートプランや、IoTの知見を持つ専門コンサルタントが伴走する「SORACOM プロフェッショナルサービス」と組み合わせて利用できます。

ソラコムは、AIを活用するあらゆる人を支援し、AI-nativeな業務推進を担う人材を増やすとともに、顧客との協創を通じて、社会全体のイノベーションを加速させていきます。

(※1)Technology Preview:正式提供に先駆けて、新機能や新サービスを検証目的で先行利用いただけるプログラムです。お問い合わせ頂き、ご利用用途や条件等をお伺いした上で個別に提供可否についてご案内致します。SORACOM Agentは正式提供に向けて様々なユーザーやパートナーの皆様との共創を検討しています。ご興味のあるお客さま、パートナーさまはお問い合わせ下さい。

(※2)ソラカメ:クラウドカメラサービス「SORACOM クラウドカメラサービス」の通称。

マネージドAIエージェント「SORACOM Agent」の概要



提供開始日

- 2026年7月7日

特徴

- 豊富なIoT向けツール群: SORACOMのIoTサービスをAPI・CLI・MCP経由で利用でき、IoT領域でAIエージェントの性能を最大限に発揮。
- セキュアな環境: ユーザーごとに隔離されたコンテナ環境でAIエージェントが稼働し、データを安心して扱える。
- プロジェクトメモリーを搭載: 長期記憶により、使うほど業務に詳しい専任のAIエージェントへ成長。
- マネージドサービス: 環境構築は不要。SORACOMに精通したAIエージェントがプリセット済みで、非エンジニアもすぐに利用開始できる。

ユースケース

- 施設管理・警備:複数のソラカメ映像をAIが横断的に確認して指定の人物を検出・通知。対応カメラでは画角制御による探索も可能。
- IoTセンサー・回線の運用:不具合や異常値の検知をトリガーにAIを起動し、状況を解析して担当者へ連絡、対処方法を提案。
- 遠隔制御・自動通知:遠隔からのデバイス設定・ON/OFF変更や、状況の音声通話通知の仕組みを構築。
- 音声による現場作業アシスト:音声でAIエージェントに相談し、問い合わせ対応や故障原因の推察を音声で回答。
- AI/IoTソリューションのプロダクト開発支援: 専門知識を持つAIエージェントと相談しながらプロダクトの開発が可能。

提供範囲

- SORACOMに接続されたデバイス・データへのAI問い合わせ
- SORACOM Fluxを活用した自動化の仕組み作りのサポート
 - 遠隔制御・映像検出などの一部機能は、対象デバイス・サービス側の対応が前提です。
- 順次機能拡充予定

料金

- お問い合わせください。

利用の申し込み

- 「SORACOM Agent」は、Technology Preview版として提供されます。ご利用を希望される企業は、以下よりお問い合わせください。

<https://soracom.jp/services/agent/>

ソラコムについて

AI/IoTプラットフォームSORACOMは、世界200以上の国と地域でつながるIoT通信を軸に、IoTを活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業DXから、イノベティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客さまにご活用いただいています。

ソラコムコーポレートサイト <https://soracom.com>

ソラコムのIRサイトでは、決算情報・IR資料など、株主・投資家様向け情報を掲載しています。

IRサイト <https://soracom.com/ja/ir>

シェアードリサーチレポート:<https://sharedresearch.jp/ja/companies/147A>

ソラコムIR公式note:https://note.com/soracom_ir

IRニュースレター登録:<https://soracom.com/ja/ir/newsletter>

本ニュースに関するお問い合わせ

株式会社ソラコム 広報

担当:田渕

pr@soracom.jp